

## 岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 26 年 12 月 19 日改正  
(平成 27 年 1 月 1 日適用)

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 旅人とたいようの会
---------------------

### ②施設・事業所情報

名称:特別養護老人ホーム ほたるの里千手		種別:介護老人福祉施設	
代表者氏名:理事長 梶野 友季子		定員(利用人数): 29名	
所在地:岐阜県本巣市曾井中島1698番地1			
TEL:0581-34-3100		ホームページ:http://i-1010.com/	
<b>【施設・事業所の概要】</b>			
開設年月日:平成26年4月8日			
経営法人・設置主体(法人名等):社会福祉法人 慶睦会			
職員数	常勤職員: 17名	非常勤職員	11名
専門職員	(専門職の名称) 施設長 1名	介護福祉士	11名
	介護支援専門員 2名	管理栄養士	1名
	看護師 1名	調理師	3名
	准看護師 3名	認知症介護実務者研修修了者	3名
	社会福祉士 1名	認定特定行為業務従事者	3名
	精神保健福祉士 1名		
施設・設備 の概要	(居室数) 23室 (多床室3、個室20)	(設備等) 多目的コーナー	
	事務室 1室	看護・介護職員室	1室
	相談室 1室	宿直室	1室
	医務室 1室	浴室	3室
	静養室 1室	トイレ	10室
	キッチン 3室		

### ③理念・基本方針 (※転載)

愛し愛される介護をする

- 1、愛し愛される医療、介護、福祉のサービスを提供することにより
- 2、顧客の生活の質の向上、心の安定を追求し
- 3、社員全員の笑顔と夢を追求し続けます。

4、法人に関わる全ての人の笑顔を引き出す努力を惜しまず

地域の平和、笑顔を増やすことを目的とします。

① 介護、福祉とは、提供する側が愛を与えるばかりではなく与えられる仕事です。

② 要介護状態や、疾病や障害を抱え、今までの生活がしにくくなってしまったご利用者様、患者様のご本人の意思を尊重し自立支援をお手伝いするため傾聴・共感・思

いやりをもって介護・医療・福祉を提供します。

- ③ 社員全員の物心両面の幸福、笑顔、また、女性の活躍推進の為すべての人が夢を持ち、夢を共に追いつけられるように努力致します。また、多種多様な人々がそれぞれに長所を伸ばし合い、認め合いながら共存、共栄できる世界を作ります。
- ④ 常にどの人とも、WIN-WINの関係が築けるように努力を惜しみません。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

和やかな雰囲気を醸し出す木の温もりに包まれ、自宅生活の延長であるように、ゆったりと落ち着いて過ごせるようにしている。食事にこだわりをもち地元産の米・野菜や肉や魚も国産の食材と陶器の食器を使用し、オープンキッチンから漂う調理中の匂いや音を感じながら、笑顔や楽しみが増える食事に行っている。

施設での生活が単調にならないように、毎月の季節行事を実施し、施設外行事としても祭・道の駅や観光地へ出掛け、住民や社会と触れあう機会を楽しみな生活に行っている。地域のボランティアの協力も得ながら、音楽療法やカラオケ大会、日中活動で作品を作り居室や廊下に陳列し、認知症の進行防止や生きがい作りにもつなげている。

開設後、3年を経て徐々に地域への理解が広まり、週1回の喫茶スペースでの健康体操や相談事業、幼稚園との交流や自治会や住民からの寄付もあり、地域の公民館を目指して定着する活動にと模索しながら取り組んでいる。

入所者へのサービスが気持ちよく笑顔で提供できるように、働きやすい職場を目指し職場環境の改善に努めている。職員は子育て中の女性も多く子ども同伴の勤務や会議も可とし、仕事と家庭の両立支援や女性の活躍推進に向けて取り組み、ワークライフバランス推進エクセレント企業の認定を受けている。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成30年6月19日（契約日） ～ 平成30年10月31日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	0回（平成 - 年度）

#### ⑥総評

##### ◇特に評価の高い点

「愛し愛される介護をする」理念の基で、入所者の思いや生活の仕方を尊重しながら、その人らしく暮らせるように手を出し過ぎず見守る姿勢で支援している。身体を動かす、脳を働かせる、足を動かすことを基本に、日中活動に体操・音楽療法・趣味や興味あることを取り入れ、活動的にいきいきと過ごせる工夫をしながら自立に向けた支援をしている。

施設内の備品や建物全体に木材を使用しており、目に入るものや肌に触れるものから木の温もりや木の香を感じ取れるように、木の机やイス等を配備し、古い道具や壺を置

いたり、絵画や書を掲げたりして、その人らしく落ち着いて生活できるように家庭的な雰囲気になっている。

食事は入所者にとって一番の楽しみとして、食材・調理・食器や雰囲気等にこだわりをもち、地元産の米・旬の野菜や肉や魚も国産の食材と陶器の食器を使用し、各ユニットのオープンキッチンから漂う調理中の匂いや音を感じながら、調理職員との会話も交えて食欲をそそり、笑顔や楽しみが増える食事になっている。

「仕事と介護の両立」について相談する窓口を設け、新はつらつ職場づくり宣言企業及び子育てサポート企業の認定を受けている。子ども同伴の勤務や会議も可とし、仕事と家庭の両立支援や女性の活躍推進に向けて、働きやすい職場環境の改善に努めている。職員の腰痛軽減対策に、鍼灸師による施術料の半額補助も行っている。

職員間で「ありがとうカード」を活用し、些細なことも認め合い感謝する姿勢を育くみ、職員が何でも言い合える関係にしている。情報共有のコミュニケーションとして、BANDとLINEでグループトークを自由に交わし、良好なコミュニケーションが促され意識改革にもつながり、ミニカンファレンスの導入など職員が自ら行動できる体制として整いつつある。

感染症対策について指針を定めマニュアルを整備し、発生予防並びに対応について嘔吐時の処理対策研修も行っている。発生時の対応について分かりやすい絵を描いて説明し職員に周知徹底している。日常の手洗い、汚物処理、口腔ケア等で、様々な場面で細心の予防策を講じている。

#### ◇改善を求められる点

施設の喫茶スペースを週1回開放し、住民が集う場として認知症に関わらず何でも相談を受け、件数は増加傾向になっているが、地域貢献や地域交流としては限定的であり、今まで以上に施設を気軽に訪問し地域との連携が深まる取り組みに期待したい。

施設の特性から家族との連携が希薄になりやすくなる為に、今年度から家族会を立ち上げて施設との調整を図っている。入所者のより良い生活の質の向上につなげる機能を果たすまでには至っておらず、定期的な懇談会の開催や家族アンケートの実施等で更なる努力が望まれる。

ホームページの担当は法人本部が担っている事もあるが、更新頻度が少なく最新の様々な情報の発信は施設のイメージアップに重要な事であり、日頃の暮らし方やイベントの様子など、入所希望者が身近に感じ取れる情報についても、担当者を明確にして最新の情報を随時更新し掲載していくことも検討されたい。

中長期計画、各種計画や実施内容が、実施していても書面化していないものが一部あり、サービスの実証は記録である事や全職員が統一見解で実施できるよう、書面を系統的に作成整理していく検討が望まれる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、初めて福祉サービス第三者評価を受審することで、改めて自らが行っているサービスを見直すきっかけができたことは、大変有意義でした。

評価機関の第三者の目を見ていただいた評価結果は、当法人の各施設において、利用者主体で質の高い福祉サービスを提供するとともに、地域に開かれた施設運営を行うための課題を明確にし、具体的な目標設定を行う上での客観的指標となります。

評価の高い点については今後さらに推進し、また改善を求められた点については十分検討を行った上で、役職員が一体となり問題意識を共有しながらそれらに取り組むことで、更に上を目指した利用者本位の質の高いサービスの提供を追求し、社会への貢献を図って参りたいと考えております。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。